



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主要要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
2/7 (月)	+ 500	+ 2,700	+ 3,200	国庫短期証券 発行・償還 (3M)	CP等買入 ▲ 300 国債補完供給 + 100	ETF買入 + 700	日: 日銀、コール市場残高 (1月) 景気一致指数 (12月)
2/8 (火)	ト	+ 4,000	+ 4,000				日: 貿易収支 (12月) 米: 貿易収支 (12月)
2/9 (水)	ト	▲ 2,000	▲ 2,000	国債発行 (物運)		社債等買入 + 1,250	日: 中村日銀審議委員が山梨県金融経済懇親会 で挨拶 (オンライン形式) マネーストック (前年比、1月)
2/10 (木)	▲ 500	+ 4,000	+ 3,500	国庫短期証券 発行・償還 (6M)			日: 国内企業物価指数 (1月) 米: CPI (1月) 新規失業保険申請件数 (5日終了週) 財政収支 (1月)
2/11 (金)					休日		

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初539兆800億円から始まった。2月1日は国債発行があり536兆2,300億円まで減少、その後2日は税・保険揚げ、国債発行等により526兆2,800億円まで減少した。3日は国債買入等により527兆3,600億円まで増加、週末の4日は大きな動きはなく526兆9,200億円 (速報) で越えた。

無担保コールON物加重平均金利は週初、前営業日比横ばいの△0.021%から始まった。その後地合いに大きな変化はなく、△0.020~△0.019%のレンジで推移した。週末3日積みの2月4日も、3日積みの影響は限定的で、同金利は△0.018% (速報) となった。

ターム物は、1月積み期内にエンドを迎える取引を中心に、主に△0.010%~△0.003%の水準で出会いが見られた。

来週の主な予定は、国内で7日にコール市場残高の公表や9日にはマネーストック (1月) の公表などがあり、海外では10日に米CPI、米新規失業保険申請件数の公表などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	△0.085 ~ 0.001
1M	△0.050 ~ 0.020
2M	△0.020 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.100
6M	0.000 ~ 0.130

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	△0.050 ~ 0.000
CP 3M	△0.090 ~ 0.000

<レポ>

今週の足許GC取引は、△0.09~△0.08%の狭いレンジで推移。今週も、週を通してレート水準に大きな変化は見られなかった。SC取引では2年428~432回債、5年139~150回債、10年331~365回債、20年164~179回債、30年69~73回債、40年9~14回債などに引き合いが多く見られた。20年179回債は発行日である2月18日までの引き合いが見られた。

<CP>

今週の入札発行総額は約2,500億円で、週間償還額 (約2,700億円) を下回った。発行市場は、一部で大型の発行が見られたものの、発行者数は限定的であり、落ちついたマーケットであった。発行残高は先週末の26兆7,796億円から、3日時点で26兆5,789億円に減少した。発行レートは、ディーラーの引き受けニーズが強く、希少銘柄や期越え銘柄を中心にマイナスレートでの出会いが見られた。

来週の週間償還額は、約6,100億円となっている。発行市場は営業日数が少ないものの、5・10日スタート絡みの発行が見込まれることから償還と同額程度の発行が行われるものと予想する。発行レートは発行頻度や希少性、期間等により幅広いレンジでの出会いが見込まれる。コロナオペ担保目的等の引受需要の強さから、期越え銘柄等はマイナスレートでの応札が行われると想定する。10日に、CP等買入れオペが5,000億円でおファーされる予定となっている。

<TDB>

2月4日の3M1056回債(2022年5月16日償還)の入札は、最高落札利回り△0.0930% (前回債△0.0893%)、平均落札利回り△0.0968% (前回債△0.0923%) となった。来週2月9日に6M、2月10日に3Mの入札がある。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではありません。今後予告なく変更されることがあります。